

学校だより



令和2年 6月 1日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

再出発

学校長 石川 秀子

二谷小学校の皆さん、いよいよ学校再開です。今までのように全校の皆さんが一堂に会し、皆さん一人一人の表情を見ながら話をするという事は、しばらくの間はできないかもしれません。でも学校に皆さんがいることがとてもうれしいです。皆さんと一緒に学習活動ができることを心から待っていました。

いつ学校が再開するのか見通しが持てない中で3か月を過ごすということは、今まで誰も経験したことがありません。小学生の皆さんも、学校の先生方も、保護者の皆さんにとっても初めての体験です。学校が再開したからと言って、全部の課題が解決したわけではありません。なにより皆さんがどのような気持ちでいるのか、どんなことに困っているのか、不安なのかということ、はっきりわかっている人は少ないのです。

ですから、皆さんも無理に元気にふるまう必要はありません。「久しぶりに友達に会えてうれしいけど、長くあつていなかったからどう話しかけていいかわからなくて困った。」「学校が始まるのはうれしいけれど、朝起きられるか心配」「みんなと学習するのは楽しいけれど、勉強はいっぱいあるのかな。難しいのかな…」など。どうか皆さん、話したいこと、思っていることを伝えてください。分散登校などは新しいタイプの生活になるかもしれませんが、困っていることも、うれしいことや楽しいことも、久しぶりに会う担任の先生方と分かち合ってください。先生方も実はどきどきのスタートです。「三密」を避けての活動になります。大人も子どもも、健康安全に過ごせることを第一に、学校生活をスタートさせましょう。

地域、保護者の皆様、日頃より教育活動へのご理解とご支援ありがとうございます。休業期間中の保護者の皆様の家庭学習への御協力、ありがとうございました。子どもたちも毎日、支えられ励まされてきたことと思います。久しぶりに子どもたちの姿が学校に戻ります。心待ちにしていた学校再開ですが、何気なく過ごしていた日常生活が当たり前でなくなっている現実に向き合わなくてはならないとも感じる学校再開です。二谷小学校でも感染症予防対策に取り組み、子どもたちが安心して登校できるように努めてまいります。

横浜大空襲について

第二次世界大戦では、広島や長崎、沖縄、そして世界の他の国々でも多くの方々が犠牲になりました。私たちの住む横浜も、戦争中の昭和20年5月29日火曜日に空襲を受け、中心地のほとんどが燃え尽きたそうです。死者・行方不明者は一万五千人を超えともいわれますが、正確な死者の数は不明のままのことです。

現在、新型コロナウイルス感染症への対策が多く耳目を集め、連日の報道の中心となっています。今起きていることへの理解と対応を学ぶと共に、今から70年余前に何が起こり、現在の社会とどうつながっているのか、私たちは改めて知らなければなりません。知ること、考えること、そして様々な人の意見に耳を傾けて一緒に行動し、より良い結果を生み出そうとする知恵を、どんな時代であっても子どもたちと共に学びたいと思います。